

指定管理者管理運営状況（令和元年度～令和4年度）

指定管理者管理運営状況

年度	指定管理者	指定管理期間
R4年度	公益財団法人 滋賀県文化財保護協会	令和3年度～令和7年度
R3年度	公益財団法人 滋賀県文化財保護協会	令和3年度～令和7年度
R2年度	公益財団法人 滋賀県文化財保護協会	平成28年度～令和2年度
R1年度	公益財団法人 滋賀県文化財保護協会	平成28年度～令和2年度

成果情報	R1	R2	R3	R4	備考
利用可能日数(単位:日)	282	277	303	303	
年間利用人数(単位:人)	40,971	32,499	26,217	27,563	
1日あたり利用人数(単位:人/日)	145.3	117.3	86.5	91.0	
年間収入(単位:円)	19,370,576	14,925,682	13,329,975	15,352,803	
1日あたり収入(単位:円/日)	68,690	53,883	43,993	50,669	

収入・支出実績 (単位:円)	R1	R2	R3	R4	備考
収入①	156,584,329	149,127,049	156,671,888	154,949,444	
施設利用収入	14,145,350	11,985,710	9,656,740	11,237,530	
指定管理料	134,508,863	134,180,000	134,180,000	137,891,884	
その他収入	7,930,116	2,961,339	12,835,148	5,820,030	
支出②	157,886,110	141,307,932	156,318,199	161,229,442	
人件費	70,861,198	65,425,572	67,891,708	68,710,513	
施設管理費	65,171,978	64,170,141	71,777,784	72,532,703	
事業費	21,852,934	11,712,219	16,648,707	19,986,226	
収支 ①-②	-1,301,781	7,819,117	353,689	-6,279,998	

モニタリング実施状況(令和4年度)

報告書の別	内容
年度報告	年次事業報告(令和4年4月報告)
月例報告	月例業務報告書(毎月報告)
実施調査	令和4年11月、令和5年3月 実施

利用者ニーズの把握

手法・実施時期	特別展、企画展の利用者満足度調査を来館者に実施
実施内容	入館者へのアンケート調査
調査結果	<p>・アンケート調査の結果、展示の満足度について、満足、ほぼ満足を合わせて春季特別展で93%、秋季特別展で92%、夏季企画展で95%、冬季企画展で94%となっており、利用者は概ね満足しているデータとなった。</p> <p>【アンケートの主な声】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても見ごたえがあった。わかりやすい解説でよかった。自宅近くの遺跡の様子が分かり興味深い。 ・信長に興味があった。信長と安土・近江の関連をもっと知りたいと思った。 ・資料を充実させて安土城解明を目指してほしい。 ・駅から遠いのが残念。土日だけでも何か交通手段が欲しい。 ・音声案内やスマホ案内があればよかった。

工夫・成果のあった点、運営上の課題

・令和4年度は、開館30周年を記念し、新聞社共催のもと、春季特別展では「戦国時代の近江・京都一六角氏だっすごかった!!」、秋季特別展では「里帰り！日本最大の銅鐸」として特別展を開催するとともに、来館者の参加を得て、記念植樹を実施した。

・博物館周辺にのぼり旗や街灯下看板を設置し、安土城跡等を訪れた観光客の誘客に努めるとともに、SNSを通じた新たな広報も展開した。

・令和4年度は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、入館者数や入館料収入等が減少する中で、光熱費をはじめとした急激な物価上昇により施設管理費等が増加し、収支が大幅に悪化した。

・加えて、開館から30年経過し、施設の老朽化が進み、修繕費が増嵩、運営を圧迫しており、大規模な設備改修や展示見直しが必要な時期となっている。令和4年度には自動火災報知機等の付け替え、加圧ポンプユニットや特別収蔵庫電極式蒸気発生器の更新等を行った。今後とも長期保全計画等に基づいて計画的に設備等の更新を行っていく必要がある。また、展示見直しについては、「安土城考古博物館展示基本計画」に基づき、令和4年度に第1期実施設計を作成しており、今年度は展示制作を進めていく。